



篠山に優良住宅 増やしたい

ささやま百年家

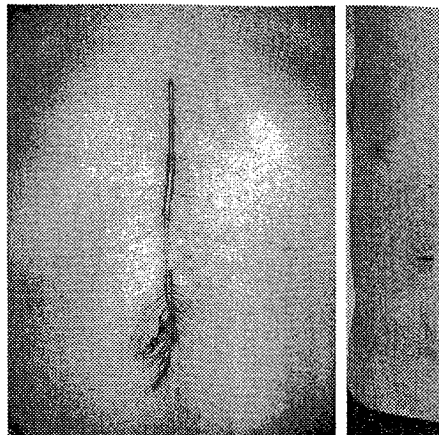
5・6日、殿町で

長期優良住宅は、耐久性があり、何世代に渡っても安心して住み続けられる家づくりを推進する国の政策。長期優良住宅の認定を受けると、最大120万円の補助金や住宅ローンの減税などの優遇措置がある。

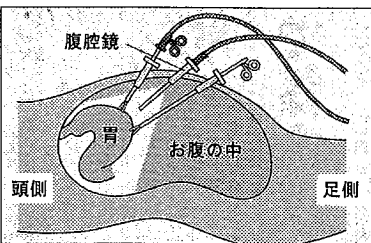
見学会は午前10時から午後4時。家づくりセミナーは午後1時半から開かれ

篠山市内の工務店で組織した「ささやま百年家」(中井章博会長)が5、6の両日、篠山市殿町で建設中の住宅を会場とした「家づくりセミナー&長期優良住宅構造見学会」を開く。普段あまり見る機会のない家の骨組みを建築士の説明を受けながら見学。長期優良住宅に対して政府が打ち出しているさまざまな優遇政策などの説明を専門家から受けることができる。百年家のメンバーで「一級建築士の中井雅人さん(35)」「中井工務店社長」は、「篠山に優良な住宅を増やそうと活動している。お得意の家を建てたり、リフォームする方法を学びませんか」と来場を呼びかけている。(大治庄三)

セミナーと見学会開催



従来の開腹胃切の手術創(左)と手術創(県立柏原病院提供)



り、縫合したりする。

花の植栽や竹林整備など、地域の美化活動に取り組んでいる「南新町美しいまちづくりの会」(清水恵治会長)の会員約40人が5月30日、南新町交差点では「南公園」で花の植栽や雑草の草引きなどを行った。

まちの美化進める

南新

約900平方メートルの同公園内の草を引いたり、前回プランターに植えたピオラなどを引き抜き、ベゴニアやサルビアなど5種類の花に植え替えた。同公園前を走る県道篠山山南線沿線約350メートルに渡って置かれた約50基

の竹のプランターを植えた。竹は、2000年南瀬の竹林整備に出た間伐材で作ったもので、清水会長は高齢者が進

住宅構造見学会を開く「ささやま百年家」のメンバーたち―篠山市殿町で

る。セミナーの内容は、▽政府住宅施策について▽住宅ローンについて▽長期優良住宅の設計ポイントについてなどで、説明はそれぞれの分野の専門家が行った。

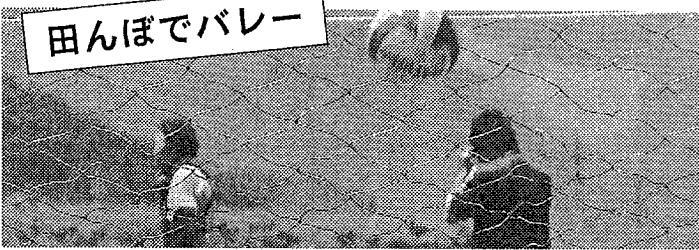
「ささやま百年家」は、篠山の伝統建築を見直し、100年以上住み続けられる丈夫な家づくりを目指す。2003年、篠山市建築組合の有志で結成。現在、▽大西工務店(味間奥)▽岡田工務店(般若寺)▽森田建築(後川上)▽園田工務店(油井)▽中井工務店(本郷)▽さか井建築設計事務所(古森)―の6社が加盟している。

建設場所の気候風土に合った地元産木材を使用し、柱などの部材を建築基準よりもひと回り太いサイズとする。骨太建築にこだわる。昨年は「篠山らしさ」をPRする「PRキャンデー」をPRした。日本一の木造大櫓(やぐら)を建設し、市に寄贈している。

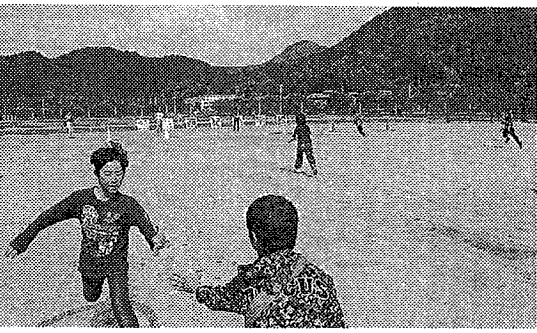
中井工務店(079・592・0266)もしくは、090・4234・7599。

真南条上大 泥だらけでプレー

真南条上大 田んぼでバレー



運動場拡張工事の完成を記念した班対抗バレーを楽しむ児童たち=西紀小学校で



篠山市真南条上の田んぼで5月29日、地元住民と神戸大学生らが「泥んこバレーボール」を楽しんだ。泥だらけになりながら、熱戦を繰り広げた。前日に、真南条上営農組合が竹のネットを止らしては、ぼんぼんだった。学生とチームとのチーム対抗戦に笑いが起